

2004年2月18日

会員各位

会則第20条に従い、2003年度決算および事業につき下記の如くご報告申し上げます。

遺伝子検査精度保証研究会  
会長 船渡 忠男

## A. 決算報告

期間：2003年1月1日～2003年12月31日

収入（単位は日本円）

前期繰越金	10,001
利子	0

---

計	10,001
---	--------

支出（単位は日本円）

次期繰越金	10,001
-------	--------

---

計	10,001
---	--------

## B. 事業報告

1. 日本臨床検査医会総会（開催平成2003年10月29日）において、未来ビジョン検討委員会遺伝子検査標準化ワーキンググループとして本研究会の活動について報告した。

2. ホームページ（<http://sqamt.umin.jp/>）にて毎月、メンバーからの寄稿を掲載し、会員向けの電子メール新聞「SQAMT News」を配信した。

3. 本会は紙上会議を主たる活動とし、関連学術情報を収集および交換するため、これまで遺伝子検査の精度管理について、遺伝子検査廃棄物について、正常DNAバンクの構築についてなどが議論された。

4. 今後とも、学術誌等刊行物の電子出版、調査、研究および開発の国際的あるいは学際的協力の企画調整の活動を推進していく予定である。

以上

上記の決算および事業報告について監査の結果相違ないことを認めます。

2004年3月1日

遺伝子検査精度保証研究会  
監事 高木 康